

選択した講義の内容です

2019年度

印刷ボタン



講義科目名称 : **工学概論** 授業コード : **01387**  
 英文科目名称 : **Outline of Engineering**

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年次	2	選択
担当教員			
平子 廉			
3年次以上	全学部	週2時間	アクティブラーニング：無
添付ファイル			
<a href="#">ループリック工学概論.pdf</a>			

授業概要	<p>現代の工学は細分化、専門化が進み全体像を見ることが困難になってきている。大学の初年次に工学全般の材料工学、船舶工学、電気電子工学、情報工学、建築学、医用工学に関する基本的事項について各専門教員がオムニバス形式で講義を行い、工学の全体像について概観する。</p> <p>学位授与の方針・教育課程編成実施の方針の対応する教育目標 【船5】，【機1.4】，【建1】，【電5】，【医3】</p> <p>系統図も参照すること。</p>
授業計画	<p><b>工学概論</b></p> <p>第1回：造船工学概論(1)-数学で語る船の波(堀)      第2回：造船工学概論(2)-CAD技術(松岡)      第3回：造船工学概論(3)-船の抵抗推進について(石川)      第4回：機械工学概論(1)-機械工学の役割(生産システム技術,機械設計)(黒田)      第5回：機械工学概論(2)-エネルギーについて(岡田)      第6回：機械工学概論(3)-エコカーの世界(平子)      第7回：電気電子工学概論(1)-工学の基本的事項について(松井)      第8回：電気電子工学概論(2)-コンピュータのハードウェアとソフトウェア(田中義)      第9回：電気電子工学概論(3)-集積電子回路技術と組み込みシステム(大山)      第10回：医療工学概論(1)-神経内科と医用工学(本村)      第11回：医療工学概論(2)-医療機器に関する医工連携(川添)      第12回：医療工学概論(3)-医療工学について(水野)      第13回：建築学概論(1)-サステナブル・ビルディングについて(山田裕)      第14回：建築学概論(2)-建物構造の設計概要(未定)      第15回：建築学概論(3)-歴史と文化を生かしたまちづくり(山田由)</p>
授業形態	オムニバス方式
達成目標	各回の講義において、工学に関する基本事項が理解され、それをレポートにまとめることができる。
評価方法	毎回の講義の小レポートによって評価する。
評価基準	<p>2018年度以前入学生          評定は、優、良、可、不可の4種類をもってこれを表し、優は80点から100点、良は70点から79点、可は60点から69点、不可は59点以下とし、優、良、可を合格、不可を不合格とする。</p> <p>2019年度以降入学生          評定は、S、A、B、C、Dの5種類をもってこれを表し、Sは90点から100点、Aは80点から89点、Bは70点から79点、Cは60点から69点、Dは59点以下とし、S、A、B、Cを合格、Dを不合格とする。</p> <p>詳細はループリックを参照すること。</p>
教科書・参考書	必要に応じてプリント等の資料を配布する。
履修条件	特になし
履修上の注意	工学部の各分野を学び、見識を広げることを望みます。
予習・復習	各回の授業の内容を配布資料により毎回予習すると共に、各回の授業で提示している内容やレポート課題を作成することにより復習を行うこと。
オフィスアワー	随時
備考・メッセージ	オムニバス形式であるためレポートは授業内では返却はしない。